



四街道市国際交流協会広報誌(ヨッカニュース)

YOCCHA NEWS

Yotsukaido Cross-Cultural Association News

Vol. 3
2012.6.30

5月20日 マザー牧場へバスツアーレポート



日本を始め中国・台湾・フィリピン・韓国と様々な国と地域の参加者、総勢 73 人で記念撮影！



お待ちかねのジンギスカンランチ！鮮やかな山の緑とさわやかな青空眺めながら心行くまで堪能



目次・Contents

- P1. 5月20日 マザー牧場へバスツアーレポート
- P2. 姉妹都市リバモアでの滞在報告
- P3. 姉妹都市リバモアでの滞在報告、他
- P4. 【連載外国籍市民インタビュー】クローズアップ！

- P5. 【連載コラム】Think You Know Yotsukaido!?
- P6. 協会の活動報告
- P7. 【こんにちは！】法人会員紹介コーナー
- P8. 【ピックアップ】初めまして～所属会員の自己紹介～
協会からのお知らせとイベントスケジュール
編集後記、会員募集のご案内



短期留学生・随行者・ 訪問団総勢37名 リバモアへ -Part1-



去る3月15日、短期留学生・随行者・訪問団総勢37名が姉妹都市リバモア(米カリフォルニア州)に向けて出発。その当日、四街道市役所で結団式を行いました。



佐渡市長から、「昨年は地震の翌日に出発したにもかかわらず、みんな元気に出発したので、皆さんも現地で遅くなつて帰つて来るのではないかと思います。皆さんは四街道市を代表して行くわけですが、肩肘張らずに一人一人の視点から交流を図つていただければと思います」というエールをいただいた一行。

留学生代表による「昨年のリバモアの皆さんからのご支援に感謝しながら、私たちは多くのことを学びたいです。そして一回りも二回りも大きくなつて帰つて来たいと思います。」という結団の言葉。一行は成田からリバモアへ約8時間のフライトを経て、現地時間3月15日(木)午前10時25分、サンフランシスコ国際空港に到着。リバモア・四街道姉妹都市の会会長のキース・ジェスさんがお迎えくださいました。

そして、サンフランシスコ市内を経由してリバモア市役所へ到着すると、LYSCO(リバモア・四街道姉妹都市市民の会)の皆さんより温かい歓迎を受けました。



キース・ジェス
LYSCO会長

John Marchand
リバモア市長

日米交流 in リバモアがスタート

上陸後初のAmericanなランチ
お餅もありました!



到着後、初めて迎えたリバモアの朝。一行はリバモア市役所に集合。サンフランシスコ観光のバスの出発を待つ間、日本語と英語でお互いが「アルプス一万尺」(Yankee Doodle)を歌いながら手をたたき合う女の子たち。そして、現地時間3月17日午後6時半より、短期留学生・随行者・訪問団に向けてのウェルカムパーティーが行われました。本当にたくさんの人たちが私たちの訪問を歓迎してくださいました!



四街道市がリバモア市に贈った桜の木々



パーティーのテーマは「メキシコの祭り」ということで、お食事もメキシコ風、そしてメキシコの踊りも披露してくださいました。

短期留学生の演目は、この日一番の盛り上がりを見せたのではないかと思うほど、素晴らしいパフォーマンス!アメリカの人たちからも拍手の嵐でした。その後のAKB48の曲に合わせたダンスでも、リバモアの学生たちがノリノリでした!

そして最後は、昨年のリバモア短期留学生・訪問団の歓迎パーティーでも大盛り上がりを見せた「うらじや音頭」で、会場全体が一つになりました!

リバモア訪問4日目～帰国までの様子は次号Part2にてお伝えします。ご期待ください。

ホストファミリー募集のごあんない

10月19日(金)から26日(金)にかけて、四街道市と姉妹都市を締結しているリバモア市(アメリカ合衆国カリフォルニア州)から市民訪問団と短期留学生、その随行者が来市する予定です。
そこで、市民訪問団、および随行者のホストファミリーを募集します。

ぜひ、この機会に身近な国際交流を体験してみませんか?

市民訪問団・随行者のホストファミリー

応募資格 ①市内在住であること

②滞在期間中1人もしくは2人のリバモア市民をホストとして受け入れられる世帯
募集数 3~4世帯

申し込み

①期 間 7月2日(月)から20日(金)

②連絡先 國際交流協会・姉妹都市部会

③連絡項目 氏名、住所、電話番号

④申込方法 下記メールアドレスのみにて受け付けます。

sistercity@y-o-c-c-a.org

詳細はこちらから電話でご連絡します。

問い合わせ

四街道市国際交流協会 姉妹都市部会

TEL. 043-312-6173

受付時間：毎週 月・水・金・土曜 午前10:00～午後3:00



YOCCAの外国人会員や四街道市内在住の外国籍市民にインタビューする
クローズアップコーナー。前回に引き続きYOCCA理事の劉朝莉さんです。

心と心がつながれば、きっと世界中の人たちが仲良くなれる。

YOCCA理事 刘 朝莉 さん

2000年来日。中国・河南省出身、北京で育つ。中国では薬剤師として病院の薬局で働く。現在は自宅で中国語教室を開くなど、市内で中国語を教えている。

旧“友の会”との出会い

私は今まで出会った日本人の皆さんに感謝しています。その中でも一番感謝したいのは、YOCCAの前身のひとつである「四街道国際交流友の会」の皆さんです。

日本に来た時、上の子は「あいうえお」すら出来ない状況で市内の小学校に入ることになりました。私は、自分が付き添った方が良いかなと思ったのですが、学校は「先生以外に大人がもう一人いると、生徒の集中力がそがれる」とおっしゃいました。それでも、上の子は元々温厚ですし、たとえクラスメイトから悪口を言わされたとしても、日本語が分からぬから何を言われているのか分からない。だからいじめもなく、学校生活も何とかうまくやっていました。

でもやはり言葉を何とかしなければ、と思っていたところに、市の教育委員会がある中国人の先生のことを教えてくれました。その方は中国から来た人に日本語を教えているんですが、その人が友の会のほんご教室の存在を教えてくれました。

それ以来、上の子はずっと四街道駅近くのほんご教室に通いました。先生の齋藤琴代さんはすごく丁寧に、親切に教えてくださいました。そこで友達も出来ました。だから私が日本に来てから本当に感謝しているのは、旧友の会の皆さんなんです。他にも、私の子どもたちのベビーシッターになってくださった方々もいます。子どもたちにとっては、日本のおじいちゃん・おばあちゃんですね。

それもあって、特に上の子は四街道が大好きで「ずっと四街道に住んでいたい」と言っています。私も来日して以来、ずっと四街道に住んでいますから、私にとっても四街道は第2の故郷ですね。

そういう方々に出会えた私は、本当に幸運だと思います。私が中国語を教えているのは、親切にしてくださった日本の皆さんに恩返しがしたいからです。

上の子もその気持ちがあって、今は北京の大学に通っていますが、長期休暇で日本に帰ってくるときは、ボランティアで駅前にほんご教室で日本語を教えています。「僕も恩返しをするんだ」って。

だから理事という形であれ何であれ、私は旧友の会の皆さんに対して出来ることがあれば喜んで協力させていただきたいと思っています。だから出来る限りのことをさせていただけたらと思いますね。

YOCCAを通じて実現させたいこと

日本人と中国人の交流の輪が大きくなればいいなと思います。

例えば姉妹都市部会の皆さんのがリバモアとされているような、日中の学生がお互いに日本や中国の学校の授業の体験ができれば良いですね。お互いの国の子どもたちがどんな風に生活しているのか、交流をすれば見えてくると思うんです。

実際にそのようなことは、東京のある区と中国の大連市が行っています。ニュースだけでは絶対に本当の姿は見えません。

言葉を尽くせば世界中の仲良くなれる

今後私は、例えばYOCCAというわく組みがあっても無くても、日中友好に取り組んでいきたいです。その一つが中国語教室だし、旧友の会にも恩返ししたい。結局はそれも日中友好につながると思います。

私は政治のことはよくわかりませんが、人は世界中みんな同じです。心を込めて接すれば、仲良くなれると思います。文化や習慣の違いをきちんと説明しながら接する。それが國同士でも、交流の基本になると思います。



昨年3月の地震の後に、原発の問題が起きました。それまで日本に住んでいた中国人の多くが故郷に帰ってしまいました。ここに残った私は「そちらは大丈夫？魚を食べたんでしょう？」とひんぱんに聞かれました。私が「大丈夫。日本政府はちゃんと対応しているから、それを信じている。魚を少し食べたくらいで、すぐに健康に影響が出るわけじゃない。だからそこまで心配しなくても良いですよ。」と伝えたら、納得してくれました。それは私が中国語ができる、向こうの国の人たちとコミュニケーションが取れるから出来たことだと思います。

私は世界中の人たちが仲良くなれてほしいと思っています。私にとってはその第一歩が、日本と中国がお互いを知ることです。日本は中国の良いところを知り、中国は日本の良いところを知る。そうやってお互いを尊重し合う。そして、誰かに優しくしていただいたら、恩返しをする。まずはそこからですね。

それをもっと小さなレベルで行ったのが、私が日本で優しい人たちに出会ったことを、両親に伝えたことです。私の親の世代には、日本に対してマイナスの感情を持っている人もいます。でも私は日本の方を知っていますから、両親に私が感じた日本についてよく話しました。「日本人は私にすごく親切してくれた」と。だから両親は日本に対して悪い感情は持っていないんです。両親は日本に来たことは無いですが、私が伝えたことで、彼らの日本への印象は変わりました。

みんな同じ「人」です。だから心と心がつながれば、きっと世界中の人たちが仲良くなると信じています。これが私の嘘のない、正直な気持ちです。

Think You Know Yotsukaido?

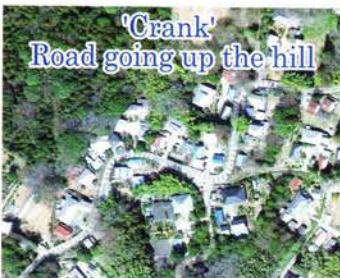
四街道を知り尽くそう!~『四街道知ってるか!?』 このコーナーはヨッカ副会長のデボン・マクネアさんが四街道を探索する連載コラムです。

Castles of Yotsukaido -Part2-

藤本さんご主人が正式な築城技術を用いて造った20分の1の大きさの『お城』を見ながら藤本さんから色々な話を聞いたデボンさん。旧鹿渡城址がある『郷土の森』へと話が及びます。実は藤本さんご実家が『郷土の森』の近所だったということもわかりました。

デボンさんは現在は閉鎖されてしまった『郷土の森』を訪ねて歴史の面影を感じ、『旧吉岡城址』で枝垂れ桜で有名な『福星寺』に思いを馳せながら帰路へつきました。

Sadly Fujimoto Castle looks like it may suffer the same fate that eventually meets every castle – slowly worn down by natural forces. The rock walls are still solid but the woodwork, repainted several times, is in need of repair. The miniature lord living inside probably has to live with a leaky roof in a couple places. Mrs. Fujimoto holds no illusions about the eventual fate of her husband's creation. "After I pass away, the next person who lives here can tear it down if they like. Friends suggested moving it to Yotsukaido Park, but it'd get ruined there too. Kids would throw rocks at it and cover it with graffiti." Human nature does its damage too.



In the middle of our conversation Mrs. Fujimoto asked us "what precisely brought you here?"

"We were on our way to see the castle remains at Kyodo No Mori." (郷土の森)

"Oh! I was born very close to

there. It was my family's neighborhood."

What luck! I listened to her impressions of the area.

"When I was a little girl my mom used to say 'I'm going up to Castle Hill to cut grass.' It never occurred to me that there was actually once a castle up there! Only later did I learn that the squiggly annoying road going up the hill – we called it the 'crank,' was the same road that lead up to the original castle."

I immediately thought of what I'd learned visiting Osaka Castle – there are no straight roads approaching the castle – every road winds and turns, making the castle that much harder to attack. And then it hit me again, a sensation I often feel in Japan, that nothing is "new," it just changes its appearance.

Kyodo No Mori
at the time of 2004

Mrs. Fujimoto spoke of Kyodo No Mori – although held as private land, the owners let it be used as a park, where people could walk around on the hill. They even erected a lookout-tower on



the north-east tip of the hill.

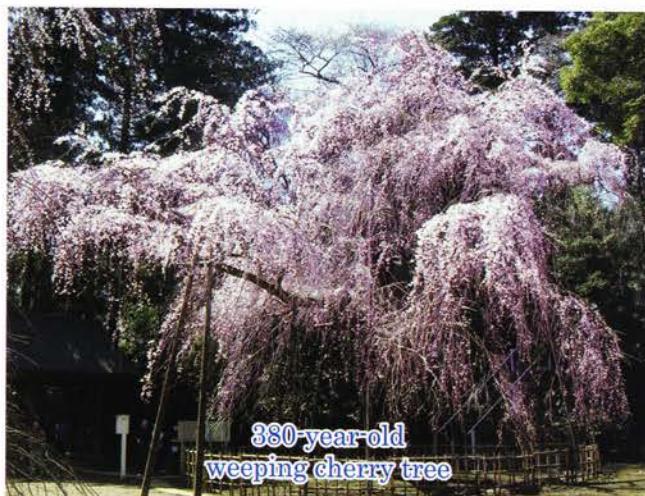
Unfortunately visitors helped themselves to wild flowers and bamboo, left garbage, and laid claims on the owners if tree branches damaged their cars. Eventually the owners gave up and closed the whole area, even going so far as to tear down the lookout tower.



After we said goodbye to Mrs. Fujimoto and thanked her again and again for her time, we spent the last hour of daylight taking a walk around Kyodo No Mori. I was sorely tempted to run up the short steep hill where the lookout tower used to be, but having just heard Mrs. Fujimoto talk about the whole area being closed due to disrespectful visitors, I restrained myself. Instead we walked around the base of the hill, and up a narrow forest path toward the top. What remains of the castle (actually three castles together) is what you don't notice -- the hills and valleys you climb up and down were originally the earth embankments and trenches. the wood and stones of the castle have disappeared long ago.

Emerging from the woods to the street we passed a sign that used to say "Kyodo No Mori parking entrance" but had been purposefully blacked out with tape. Then we emerged to the street, the "crank" which Mrs. Fujimoto spoke of. It was no longer just another windy narrow residential street, but the current face of something that had been existing, even living, for over half a millennium. We walked along the ancient street, back to the car, and left just before dark.

As an aside, right now (late March, early April) is a great time to visit another castle remains in Yotsukaido. Fukusho-ji (福星寺) in Yoshioka, home to a 380-year-old weeping cherry tree, was built where another castle once stood. All that remains of this castle, like the others, is earth embankments.



380-year-old
weeping cherry tree

"Think You Know Yotsukaido?" の日本語訳を会員向けに配布しています。希望する人は当協会事務局までご連絡ください。



平成24年度 四街道市国際交流協会 定期総会：5月12日

昨年発足した四街道市国際交流協会の、平成23年の活動とその成果を報告し、平成24年の活動を会員の皆様にはかる、「四街道市国際交流協会定期総会」を開催しました。今年度も、どうぞよろしくお願ひします。



講演会「祖国カンボジア～未来に向けて～」：5月15日



講演者は、現在カンボジアのアンコール遺跡の保全・修復事業を行っている非政府組織「JST」の代表を務めているチア・ノルさん。朝からの雨にも関わらず、30人以上の協会員・市民が参加しました。講演終了後は、参加者による質問コーナー、奥様の小出陽子さんが、カンボジアの特産品を紹介し、大盛況のうちに終了しました。

公開講座「中国語旅行会話：看看大連～行ってみよう、大連～」第1回：6月16日

募集から数日で定員になるほどの人気となった、この講座。

講師は大連出身の協会員・内田恵玲さん。中国語の特徴ともいえる四声や、すぐに役立つあいさつを一生懸命練習しました。

後半は旧日本軍ゆかりの古い建物を地図と写真で紹介するなど、みなさんとても充実した第1回目でした。第2回、第3回は次号でご報告します！



6月24日の公開講演「英語習得の極意～語学から語楽へ～」と6月30日の「外国の方との懇談会：ミャンマー編」の様子は、次号でご報告します！

四街道市国際交流協会(ヨッカ)の法人会員を紹介する新コーナーが誕生しました。記念すべき第1回目は、ヨッカの前身の一つである旧「四街道・リバモア姉妹都市市民の会」でも長く法人会員として協力していただけてきた『社会福祉法人 翠昂会』さんです。

総合公園からさらに奥へと入った田園地帯に、「社会福祉法人翠昂会(すいこうかい)」が運営する、障害者支援施設の「永幸苑(えいこうえん)」と「ピクシーフォレスト」が広がっています。施設に入るとスタッフや利用者の皆さんとの、明るくフレンドリーな「こんにちは!」の声が響き、ヨッカ取材陣の緊張が一気にほぐれるほどでした。



「永幸苑」と「ピクシーフォレスト」では、利用者はそれぞれの特技を生かして、パンやクッキーなどの製菓、紙パックからコースターや葉書などを作る手工芸など、様々な活動に取り組んでいます。中でも製菓班は、四街道産の小麦を使ったパン作りの試みを今年から始めるそうです。

「国際交流協会でイベントを行う際は、ぜひ私たちの作ったお菓子などの販売をお願いしたいですね。」と語るのは、にこやかな笑顔がとても素敵な常務理事・川崎鉄男さん。

福祉の世界を志したきっかけは、高校時代のバレーボール部での体験。当時四街道高校には体育館が無く、盲学校や養護学校の体育館を借りて練習をした際に、障害者の人たちと交流したことだったそうです。また、小学校入学前に治ったものの、妹さんが幼い頃に言語障害を持っていたことも「潜在意識にあったのかもしれないですね」と振り返る川崎さん。

それらの体験や福祉分野の専攻、そして現場での経験の末に、川崎さんの父である喜男さんが退職を機に一部出資して翠昂会を設立。陣頭指揮をとったのが当時20代後半の若き川崎さんだったそうです。

森の緑を意味する”翠”と、”価値が上がる”を意味する”昂”…「深い緑の中で福祉の価値が上がるよう」いう願いを込めて名付けた「翠昂会」。昨年(2011年)には設立20周年を迎え、スタッフは総勢120名を数えるまでになったそうです。



川崎鉄男さんからのメッセージ

これからは、大人も子どもも世界を相手にしていかなければならぬ世界になるでしょう。

私自身、出身高校に、当時オーストラリアから留学生が来ていたこともあり、世界に日本を理解してもらいたいと思うと同時に四街道の子どもたちにも世界へ羽ばたいてほしいという気持ちがあります。だから、子どもたちには世界を見てほしい。そしてもうひとつ、リバモアの人たちにも、是非この施設を見学にお越しいただけたらと思っています。



四街道市国際交流協会(YOCCA:ヨッカ)では、協会が実施するさまざまな国際交流事業に協力していただくために、日本語指導、日本文化紹介、通訳翻訳・語学教育、ホームステイ、事業支援といったボランティアを募集しています。興味のある方は、ぜひ協会までお問い合わせ下さい。

ボランティア登録のお願い





YOCCA会員を紹介するこのコーナー。
自己紹介をしてくださる人を随時募集中です。
ご希望で広報スタッフが取材に伺います。
詳しくは協会までお問い合わせください!

日本語学習部会でボランティアとして活動するかたわら、四街道市民劇団「座・劇列車」でも活動されている篠原伸嘉さん。現役時代は英語の先生をされていたそうです。

「言葉は普段から生活の中で使ってこそ覚える」というポリシーで、一人一人に合った教え方を工夫していらっしゃる、とてもパワフルな会員さんです。



7月～9月のイベントスケジュール

7月	1日 ヨッカ説明会 2～20日 リバモア姉妹都市・ホストファミリー募集
8月	4日 短期留学生交流会(四街道市役所共催) 4,11,18日 旅が楽しくなる英会話 第3週 キッズ英会話“すくすくEnglish” 25日 ふるさと祭り模擬店出店
9月	8日 リバモア姉妹都市短期留学生・市民訪問団の受入れオリエンテーション 30日 ヨッカニュース第4号発行

外国人による日本語スピーチ発表会開催のご案内

毎年恒例の「外国人による日本語スピーチ発表会」を四街道市の市民文化祭行事の参加団体として開催します。
外国人の皆さんにとって日本語学習の成果を発表する良い機会ですので、奮ってご参加ください。

[日時・場所]

開催日:2012年11月3日(土);文化の日
時 間:13:30～16:00 (スピーチ発表は14～15時;予定)
場 所:四街道市文化センター 208号室

[定員・参加資格・スピーチの要領]

定 員:10名
資 格:年齢他制限はありません。市外在住の方も参加できます。
要 領:発表の持ち時間は5分。テーマは自由です。

[申し込み締め切り]

2012年7月20日(金)

[申し込み・問い合わせ]

日本語学習部会:小島(TEL. 432-6110)

10月以降のイベントスケジュール

10月	21日: 社協まつりワールドキッチン(交) 19日～26日: リバモア短期留学生・市民訪問団の受入れ(姉)
11月	3日: 外国人による日本語スピーチ発表会(日) 未定: 産業祭リバモアワイン販売協力(姉)
12月	未定: ポットラックパーティー(交) 未定: 市内中学校短期留学生(リバモア姉妹都市)の派遣オリエンテーション(姉) 31日: ヨッカニュース第5号発行(事)
2月	未定: みんなでわいわい話す会(外国人市民と共に)(交) 未定: 日本語ボランティア養成講座(2月～3月)(日)
3月	未定: 市内中学校短期留学生の派遣(リバモア)(姉) 31日: ヨッカニュース第6号発行(事)

通年事業

- ・日本語教室(火～土、各曜日月3回、学校派遣)(日)
- ・英会話教室(火、金、水、各曜日月2回)(通)
- ・通訳ボランティアのための専門講座(年4回)(通)

※交: 交流部会、姉:姉妹都市部会、日:日本語学習部会
通: 通訳・語学研修部会、事:事務局の略です

編集後記

5月始めて総会が終わりホットしたのもつかの間。慌ただしくヨッカニュースの編集が始まりました。7月には設立後初めて一般市民向けに説明会も実施するので、相変わらずてんてこ舞いの日々です。忙しくても心には常に国境を超えて、世代を超えて、互助精神で人と人を結ぶ～理想を忘れずにがんばっています！

編集スタッフ

編集長: 茅森由佳(Yuka Kayamori)

取材・執筆: 德橋功(Isao Tokuhashi)

Devon McNare(デボン・マクナエ)

写真撮影: 白石明子(Akiko Shiraishi)

監修: 鈴木淳雄(Atsuo Suzuki)



四街道市国際交流協会

【開館日】毎週 月曜・水曜・金曜・土曜

午前10時～午後3時

※開館日が祝日にあたる場合はお休みになります。

〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡2001-10

四街道市役所第二庁舎1階

国際交流センター内

TEL. 043-312-6173

FAX. 043-312-6176

E-mail. info@y-o-c-c-a.org



<http://www.y-o-c-c-a.org/>

★会員を募集しています★

市民の皆さんの幅広い参加を通して積極的な国際交流活動を進めるため、協会の事業に賛同してくださる個人・団体の「会員」を募集しています。皆さんからの会費は国際交流や多文化共生の事業に活用させていただいている。

会 費 個人:1口2000円/年 家族:1口3000円/年

学生:1口1000円/年 法人・団体:1口10000円/年

申込方法 国際交流センター内協会事務局で、申し込みを受け付けています。また、電話をいただければ「入会申込書」を郵送します。ご記入後に当協会へ郵送・FAX・メールにて送付いただくか、協会窓口までお持ちください。

なお「入会申込書」は協会HPからもダウンロードできます。→

